


09/14/2024

日本精神分析的な精神医学会第22回大会
精神神経学会のサブスペシャルティ認定をめぐって

夢物語

Japan Psychotherapy Week の経験から



内海メンタルクリニック・認知療法研究所
井上 和臣

日本精神分析的な精神医学会 利益相反(COI)開示 発表者名: 井上 和臣

この発表に関連し、開示すべきCOI関係にある
企業などはありません。

夢物語

Japan Psychotherapy Week の経験から

- Japan Psychotherapy Week
- 触媒としての認知療法
- 消えゆく認知療法
- 夢物語
- 未来を語る

夢物語

Japan Psychotherapy Week の経験から

- Japan Psychotherapy Week
- 触媒としての認知療法
- 消えゆく認知療法
- 夢物語
- 未来を語る

Japan Psychotherapy Week 2015
 和と洋の邂逅





http://www.ahk.or.jp/meicho/famweek/24_platon/index.html
<http://www.orientalhotel.jp/>

Japan Psychotherapy Week 2015
 和と洋の邂逅





http://www.ahk.or.jp/meicho/famweek/24_platon/index.html
<http://www.orientalhotel.jp/>

Japan Psychotherapy Week の歩み

Japan Psychotherapy Week 2015
 和と洋の邂逅

第1夜 2015年2月21日(土) 19時～21時
オリエンタルホテル 4階パンプルーム

原田 誠一 和と洋の望ましい邂逅の形とは?—精神科医の私見と希望
 中村 敬 精神療法が根をもつこと

第2夜 2015年2月28日(土) 17時30分～19時30分
オリエンタルホテル 6階オリエンタルルームWEST

北山 修 精神療法における言葉の力



(敬称略)

Japan Psychotherapy Week の歩み

Japan Psychotherapy Week 2015 Special

2015年5月30日(土) 19時～21時
オリエンタルホテル 4階テラスルーム

大野 裕 認知療法・認知行動療法



(敬称略)

Japan Psychotherapy Week の歩み

Japan Psychotherapy Week 2016

サイコセラピー Psychotherapy の道

2016年5月7日(土)17時~21時
オリエンタルホテル 6階オリエンタルルームEAST

藤澤 大介	認知行動療法の道
生地 新	私の考える精神療法について—精神分析的な精神療法の立場から
青木 省三	支持的な精神療法を考える



(敬称略)

Japan Psychotherapy Week の歩み

Japan Psychotherapy Week 2017

—か多か Unity or Diversity

2017年5月7日(土)17時~21時
オリエンタルホテル 6階オリエンタルルームWEST

岡田 佳詠	認知行動療法の多職種への広がり—看護への活用の有用性—
久保田 幹子	森田療法の理解および治療的変容のプロセス
高野 晶	懐に抱く~日常臨床と精神分析



(敬称略)

Japan Psychotherapy Week の歩み

Japan Psychotherapy Week 2018

治療者になるということ Becoming A Psychotherapist

2018年5月6日(日)17時~21時
オリエンタルホテル 6階オリエンタルルームWEST

耕野 敏樹	認知行動療法のスーパービジョンシステム~臨床現場への広がり
岩木 久満子	桃栗三年森田二十年以上—森田療法家への道のり—
木村 宏之	精神分析的な精神療法家になること



(敬称略)

7/13/2019
オリエンタルホテル オリエンタルルーム WEST

Japan Psychotherapy Week 2019

三つの時

医療法人内海慈仁会内海メンタルクリニック
認知療法研究所
井上和臣

演題発表に関連し、開示すべきCOI関係にある企業などはありません。



精神療法の饗宴
 Japan Psychotherapy Weekへの招待

精神科臨床をそれぞれの立場で牽引してきた一流の臨床家たちが、
 学派を超えて語った。ベテランの経験と知恵から学ぶ、刺激的な
 1冊

著者 井上 和臣 編著
 ジャンル 臨床心理学・精神医学
 出版年月日 2019/07/20

ISBN 9784414416596
 判型・ページ数 A5・250ページ
 定価 本体3,200円＋税
 在庫 在庫あり

<http://www.seishinshobo.co.jp/book/b458419.html>

Japan Psychotherapy Week 2020
 フロイトとユング
 Freud and Jung

特別講演 講師 (敬称略)

鈴木 菜実子 兵庫教育大学大学院
 『精神分析心理療法のフロンティア』

角野 善宏 新川医院
 『ユング派心理療法の実践』

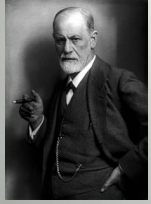
2021年2月27日(土) 17時～19時 内海メンタルクリニック・セミナールーム (西宮市)

Japan Psychotherapy Week
 フロイト, 森田正馬, ベック



Sigmund Freud (1856-1939) 森田正馬 (1874.1.18-1938) Aaron T. Beck (1921.7.18-2021)

Japan Psychotherapy Week



Sigmund Freud (1856-1939)

- Freud の誕生日(5月6日)に始まる1週間とする
- 神戸を開催地とする
- 饗宴(供宴・競演・協演・共演)形式とする

精神科鑑別治療学

■精神科臨床での精神療法の選択

- 治療の場 Setting
- 治療の形態 Format
- 治療学派 Orientation
- 治療の期間と頻度 Duration and Frequency
- 治療の併用 Combination of Treatments
- 無治療の選択 No Treatment



Frances A. Clarkin J. Perry S. Differential Therapeutics in Psychiatry:
 The Art and Science of Treatment Selection. Brunner/Mazel, New York, 1984
 (高石昇 監訳、精神科鑑別治療学-理論と実践-、墨和書店、1989)。

治療学派 Orientation

- 各学派の治療者は治療の場と形態の選択については比較的寛大だが、**技法の選択**となると鋭く意見が対立する。
- 治療技法、すなわち実際に患者に行うことが、自分の受けた訓練や知識に基づくものであるだけでなく、人生観や、精神障害の原因と治療に関する見解を異にするからである。



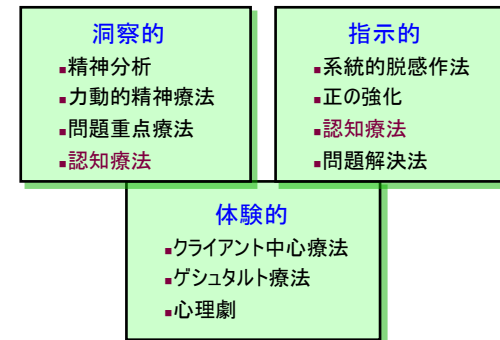
Frances A. Clarkin J. Perry S. Differential Therapeutics in Psychiatry:
 The Art and Science of Treatment Selection. Brunner/Mazel, New York, 1984
 (高石昇 監訳、精神科鑑別治療学-理論と実践-、墨和書店、1989)。

治療学派 Orientation

- 洞察的(exploratory) : 理解
 内的葛藤に関する理解を促進させる
- 指示的(directive) : 行動
 不適応行動に変化を与え、適応行動を学習し向上させる
- 体験的(experiential) : 情動
 治療的出会いを体験し、自己実現に向かう

Frances A. Clarkin J. Perry S. Differential Therapeutics in Psychiatry:
 The Art and Science of Treatment Selection. Brunner/Mazel, New York, 1984
 (高石昇 監訳、精神科鑑別治療学-理論と実践-、墨和書店、1989)。

治療学派 Orientation



認知療法

- 認知療法は洞察的ではあるが、精神分析理論とはずいぶん異なった治療である
- 認知療法が意図するところは、不適応な感情や行動を引き起こしている認知をあらわにし、それを変化させよとすることである
- この種の洞察は一部は精神分析的な治療者によって作り出されたものであるが、認知療法で用いられる技法は非常に指示的であり、学習理論や行動療法の理論の影響を強く受けている
- 認知療法は、**洞察と指示の境界にまたがっている**と考えられる

Frances A. Clarkin J. Perry S. Differential Therapeutics in Psychiatry:
 The Art and Science of Treatment Selection. Brunner/Mazel, New York, 1984
 (高石昇 監訳、精神科鑑別治療学-理論と実践-、墨和齋法、1989).



- 第56回日本消化器病学会大会
 会長 三浦 総一郎 (筑波大)
- 第88回日本消化器内視鏡学会総会
 会長 屋嘉比 康治 (埼玉医大総合医療センター・消化器・肝臓内科)
- 第18回日本肝臓学会大会
 会長 福井 博 (奈良県立医大・消化器・内分泌代謝内科)
- 第12回日本消化器外科学会大会
 会長 笹子 三津留 (兵庫医大・外科(上野消化器外科))
- 第52回日本消化器がん検診学会大会
 会長 井上 和彦 (川崎医大・総合臨床医学)

夢物語 Japan Psychotherapy Week の経験から

- Japan Psychotherapy Week
- 触媒としての認知療法
- 消えゆく認知療法
- 夢物語
- 未来を語る

Japan Psychotherapy Week



- 日本認知療法学会(あるいは認知療法)が触媒の役割を果たすことによって、サイコセラピーに関わる複数の学会が同時に、あるいは重複期間を含みながら相前後して開催されることを夢見ている。
- Japan Psychotherapy Weekの実現である。

井上和臣、日本認知療法学会：経緯と将来展望、認知療法研究 2008; 1: 10-15.

Inoue Kazuomi, M.D.

夢物語
Japan Psychotherapy Week の経験から

- Japan Psychotherapy Week
- 触媒としての認知療法
- 消えゆく認知療法
- 夢物語
- 未来を語る

消えゆく認知療法
Vanishing Cognitive Therapy

触媒としての認知療法

自家薬籠中の療法 Therapy



Inoue Kazuomi, M.D.

◆ その過程で、おそらく「認知療法」と名前がつくようなものは消えていく。あるいは、いちばん重要なのは「認知」療法ではなく、療法・セラピーなのではないかというのが、最後のメッセージである。

◆ 認知療法が、療法に姿を変えていく過程の「触媒」として、ほかの治療法との接近を図る役割を果たすことがあってもいいのではないかと考える。通常の臨床場面では認知療法が大事なのではなく、実は療法が大事であり、治療者がよりいっそう大事なのではないかというのが、本日の私の「認知療法の理論的展開」の結論である。

東 斉彰 編著
『統合的方法としての認知療法』
岩崎学術出版社, 2012.

夢物語
Japan Psychotherapy Week の経験から

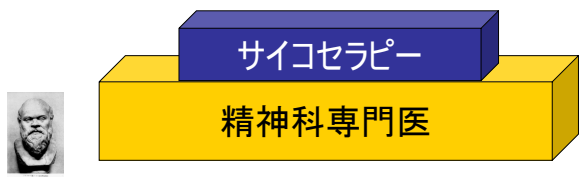
- Japan Psychotherapy Week
- 触媒としての認知療法
- 消えゆく認知療法
- 夢物語
- 未来を語る

精神科専門医のための研修ガイドライン

- (精神科専門医のための研修ガイドラインでは) 支持的療法は施行できることが求められているもの、力動的療法、認知行動療法、森田療法などの特殊な療法については適用可能な疾患であっても、多くは紹介・理解・説明できるととまっている。
- 夢物語の第一は、精神療法に関わる複数の学会が協力することによって新専門医制度のサブスペシャリティとして「精神療法」を提案することである。

日本専門医機構による専門医制度 に対応する精神科専門医制度

- サイコセラピーに関わる複数の学会（日本精神分析学会、日本森田療法学会、日本認知療法・認知行動療法学会など）が新専門医制度のサブスペシャリティを形成する。



Inoue Kazuomi, M.D.

方法/手段としての精神療法

- ...精神分析だけではならぬ
- 実際には特定の党派
- 物理学者でも、この言も飛びつき

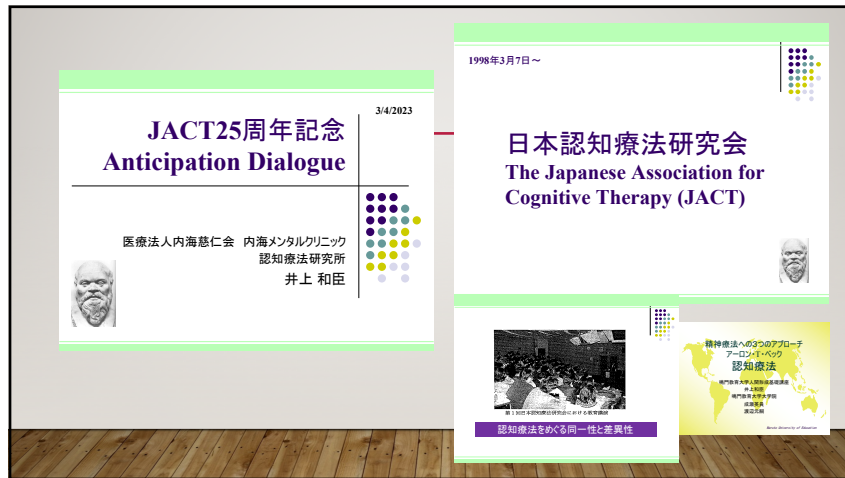
実際には精神療法は、
たとえば微分積分の計算などのように
ひとつの研究手法、
特定の党派に肩入れすることのない
一手段である。

フロイト (高田珠樹 訳): ある錯覚の未来. 1927. フロイト全集20 (岩波書店 2011) 所収

夢物語

Japan Psychotherapy Week の経験から

- Japan Psychotherapy Week
- 触媒としての認知療法
- 消えゆく認知療法
- 夢物語
- 未来を語る



Anticipation Dialogue

- 抱えている問題が解決し、うまくいっているという未来を想起する。
- その未来の時点(概ね1年程度先)から、そのような未来に至ったプロセスを振り返ってもらう。
- 今後の具体的な計画を皆で立案していく。

川田美和: 未来語りのダイアログ. Phenomena in Nursing 1(1), 2017

自分の登場しない未来図

- 死の床にある諸葛孔明に司馬恵達は語るのです。
「私には未来がある、まだすこしは...私の描く未来図には、私自身も 登場しなければなりません。すると濁るのです。輪郭のあざやかな絵はうかびあがないのです。」
「...自分の登場しない未来図は、澄み切っているはずです。」
- 諸葛孔明は、自分の登場しない、未来の物語を、おち着いた口調で語りはじめた。
(陳 舜臣: 秘本三国志(六), 文藝春秋/文春ウェブ文庫版, 2003.)

浪速のことは夢のまさ夢